

■笑恵館で学びませんか■

ほぼ週刊【松村拓也のメールマガジン】第 395 号

こんにちは、松村拓也です。

E-Mail と Facebook で松村拓也の活動についてほぼ毎週お届けしています。

ご意見、ご質問大歓迎です。

オンラインの議論をご希望の方は、気軽に返信ください。

.....

395 目次

1. トピックス：笑恵館で学びませんか
2. ブログより：ばらまきなんかしなくていい
3. 今週のお誘い+今後の予定
4. 地主の学校・販売中
5. アクセスポイント：問い合わせ先
6. このメルマガについて

.....

1. トピックス：笑恵館で学びませんか

これまで笑恵館にいる土曜日と、いづみ（反町）にいる日曜日以外の平日は、自宅を拠点に動いていましたが、先週から笑恵館に拠点を移したので、皆さんをお誘いしやすくなりました。

そこで、これまで時々開催していた「いわゆる・松村塾」を、積極的に開催したいと思います。

以下、松村塾の自習室より <https://nanoni.co.jp/juku/>

.

まつむら塾では、松村拓也の頭の中を片っ端からコンテンツにして、具体的な教材に展開します。

A. 実現学

- ・ 起業編 疑問詞(5w1h)を活用して、新しい世界の描き方を学ぶ
- ・ 交流編 コミュニケーションを活用して、自分の思いを探る
- ・ 地域編 社会を介して、自分の夢と世界の夢の関係を考える
- ・ 創業編 ビジネスの基本を知り、夢の具体イメージを構築する

B. 破綻学

- ・ 松村拓也の経験談から、倒産の実態を知り、失敗の想定法を学ぶ

C. 地主学（地主の学校）

- ・ 自由なチャレンジを実現するため、土地所有について学ぶ

D. 学問学

- ・ 学問の構造を知り、夢の具体化に活用する方法を学ぶ

E. 世界学

- ・ 世界を構成するキーワードの構造を考えることで、世界の構造を知る

F. 入門講座

- ・ 費用をかけず、ビジネスを自力でやるための相談や講座

## G.外論(ブログ)

・松村拓也のブログ

・

受講希望者は、このメールに気軽に返信してください。

開催方法は、これから考えます。

.....

## 2. ブログより：ばらまきなんかしくていい

先日、S君の紹介で「農家はもっと減っていい」という本に出会い、早速図書館で借りて読んでみた。

著者の久松達央氏は、20代で脱サラして就農し、有機農法の事業化に挑んできたが、生産者側から見たビジネスとしての農業の悲惨な実態を知り、黙っていられなくなったという。

ほとんどの農家は農業を生業としておらず賃貸業や他業務との兼業で、我が国の農産物の大部分を一部の生産者が担っている。

売上が5千万円以上無ければ、生活費が捻出できないことを考慮すれば、専業農家の大部分も零細企業に過ぎない。

ところが国は、大多数のダメ農家を対象に保護や育成支援を行っており、結果として競争を阻害し、消費者に就けを回している。

つまり本書は、数の論理が少数の革新の芽を摘んで、全体の退廃を招くという現代社会の構造を批判している。

・

国やその出先の自治体（以下官という）が担う公益とは、不特定多数の益のこと。

つまり選り分けることなく、そこにいる多くの人のためになることや、その人たちが求めることに取り組むことが「官の役割」という理屈だ。

久松氏の嘆きは、農作物の安定供給や農業の発展を望んでいない大多数の農家のために、農業を鍛えるのでなく甘やかし助成していることだ。

僕はこの考え方に強く共感する。

だが僕は、多数の愚かな人たちが社会をダメにしていく「衆愚政治」という言葉で、民主制を揶揄したいのではない。

本当に嘆かわしいのは、「民衆の愚かな側面」に付け込んで、お金をばらまく奴らの愚かさだ。

・

政治にしてもビジネスにしても、お金をばらまく人が敬われるのはなぜだろう。

確かにお金が無いと困るし、お金があれば助けになる。

だがそれは、そのお金を払うことで自分の手間や労力を省くことができるだけ。

お金があれば何かができるようになるのでなく、むしろできなくなり、自力で生きる力が次第に失われていく。補助金の助けを借りて、売値を下げるのが社会のためになるなんて、本当にそうなのだろうか。

確かに支出は抑えられるかもしれないが、収入が増える見込みも立たれてしまうのは確実だ。

その上、ばらまく側はすべてでなく、自分たちの手間賃を差し引いてからばらまいているのが現実だ。

まずは国が徴税し、それを都道府県にばらまき、さらに市町村にばらまいてから市民にばらまけば、途中で幾重にも手間賃を稼ぐことができる。

・

一方で、私たちの支出も増えるばかりだ。

いわゆる物価の変動は、需給の関係、世界情勢や為替の変動による影響など、世界のどこにいても避けられない。

だが、受益者負担と呼ばれる地域独自の支出は、平等なはずの公的な負担に格差をもたらしている。

例えば、所得に応じた所得税や、享受するサービスに応じた消費税などの税金がその代表だ。

その他にも、治療内容に応じた医療費や学校の教育費など、費用の一部あるいは大半を受益者が負担して、残りを公的な資金で充当する。

公共サービスの内、受益者負担の無い無償サービスとしては、警察や消防、一般の道路や公園などがあげられるが、さらには新型コロナウイルスのワクチン接種や、自衛隊の軍備・トンネル・橋梁・河川・ダムなどの社会インフラ、そして外交などもあり、これらの前提で経済活動ができていると考えれば、「所得」も受益に含まれる。

・

ここでちょっと整理したいのは、収入と支出の双方を受益と考えることだ。

お金を払うことでサービスを楽しむのも、お金をもらうことでサービスを楽しむようになることも、享受という受益に変わりはない。

なので、収入と支出とは、お金という受益に対し負担（税）がかかるか、お金が受益の負担（対価）になるかの違いに過ぎない。

大切なことは、受益者負担の有無、つまり、受益者負担は一体何のためにあるのかということだ。

まず、収入と支出の双方に負担があるのは、それが公共サービスの財源だから。

収入の多い人に多くを負担させて、均等なサービスに回すことが、税や保険による再配分の仕組みだ。

だがこれに対し、サービスの享受に対する負担を求める受益者負担とは、一体何のためにあるのだろう。

・

混同を防ぐため、享受に対する負担を「有償」と呼ぶことにしよう。

例えば、医療費の3割負担や介護保険の1割負担は、「医療費の有償化」の結果だ。

世界には医療費や教育費が「すでに無償」の国がいくつも存在する一方で、日本のように「今後の無償化」を検討する国もある。

「大学が無償の国」は少数かもしれないが、「高速道路が有償の国」も極めて珍しい。

つまりここには、その国や社会の考え方が色濃く反映する。

キューバの経済は貧しいが、医療費は無償の上、大学の医学部もほぼ無償で卒業できるのは、そもそも野戦病院でゲバラが医療を提供したことで革命軍が支持を広めたためだと言う。

スウェーデンの大学無償化が1970年代のオイルショック後に本格化したのは、国家が構造不況産業を救済するのを辞め、すべての労働者に成長分野を学び直す機会を提供するためだと言う。

・

だとすれば、日本の医療はなぜ3割負担なのか、高速道路はなぜ有償なのか。

その先に目指す未来があって、その実現のために必要だからなのか。

もしも、成長と拡大を続ける前提なら、「いい加減にしろ」と僕は言いたい。

さらに言えば、税や保険など再配分の仕組みすら、成長を前提とするだけの「詐欺まがい」かもしれない。

社会保険の財源が足りないから消費増税し、それでも足りなければ赤字国債・・・など、とても経営と呼べないでたらめだ。

とまあ、「農業政策への憤り」を話したら、「ばらまき政策への憤り」がさく裂した。

そんな僕に共感する人は一緒に小さな国を作ろう、そしてあなたの国づくりを手伝わせて欲しい。

.....

### 3. 今週+今後の予定（下記以外はすべて応相談）

【凡例】◎：申込不要、○：申込必要、×：一般参加不可

#### ■今週の予定

- (火) 11/15 なのに（世田谷）作業日  
交流◎：09-12時 よろず相談会（笑恵館）
- (水) 11/16 なのに（各所）作業日  
会議×：20-22時 いづみ打合せ（反町）
- (木) 11/17 なのに（世田谷）作業日  
交流◎：13-18時 ◎笑恵館なるほどデイ（笑恵館）  
交流○：18-20時 笑恵館完全持ち寄り食事会（笑恵館）  
会議×：20-21時 AR子ども書籍MTG（zoom）
- (金) 11/18 なのに（世田谷）作業日
- (土) 11/19 なのに（世田谷）作業日  
交流◎：09-17時 よろず相談会（笑恵館）  
交流×：18-20時 住人食事会（笑恵館）
- (日) 11/20 いづみ（横浜）作業日  
交流◎：09-17時 いづみPJTオープンデイ（反町）  
交流◎：12-14時 いづみPJT説明会（反町）  
会議×：19-21時 いづみ幹事会（反町）
- (月) 11/21 なのに（各所）作業日  
手続×：10-12時 LRL納税（横浜）

#### ■定例の予定

- 月曜・第2,4 22-23時 ○八島花文化財団準備室MTG（zoom）
- 火曜・第2 18-20時 ○LR定例営会議（zoom）  
第4 20-21時 ○LR定例営会議（zoom）
- 水曜・第4 10-12時 ○OforW経営運営会議（zoom）
- 木曜・第2 15-16時 ×かなこPJT（zoom）  
17-19時 ◎笑恵館クラブ運営会議（笑恵館）  
第3 13-18時 ◎笑恵館なるほどデイ（笑恵館）  
18-20時 ○笑恵館完全持ち寄り食事会（笑恵館）  
20-21時 ×AR子ども書籍MTG（zoom）  
第4 17-19時 ◎笑恵館クラブ運営会議（笑恵館）  
20-21時 ○一宮庵クラブ運営会議（成城）
- 金曜・第4 08-09時 ○地主の学校ゼミ（zoom）
- 土曜・毎週 09-17時 ◎よろず相談会（笑恵館）  
第3 12-14時 ×RYUSEN PJT（zoom）
- 日曜・毎週 09-17時 ◎いづみPJTオープンデイ、説明会（反町）

第1 10-11時 ×100smile 会議 (zoom)

第4 10-14時 ○名栗の森オーナーシップクラブ月例会 (飯能)

■今後の予定

11/22-24 出張× : 堺・有田・冷水視察 (大阪・和歌山)

11/25 会議× : 10-12時 HFA 定例会 (恵比寿)

11/25 交流× : 10-20時 THE MOMENT パーティ (成城)

11/26 会議× : 10-12時 K+Y ミーティング (笑恵館)

12/15-17 出張× キロロリゾートオープニング (北海道)

12/18 交流○ : 19-21時 八島花文化財団お披露目会 (京島)

松村の予定はこちらで随時公開しています。

<http://nanoni.co.jp/schedule>

.....

4. 地主の学校・販売中

拙著【地主の学校】はこちら

<https://www.bungeisha.co.jp/bookinfo/detail/978-4-286-23339-0.jsp>

セミナー、読書会など気軽にご相談ください。

.....

5. アクセスポイント

松村拓也

メール [takuya@nanoni.co.jp](mailto:takuya@nanoni.co.jp)

携帯 090-9830-3669

自宅 : 株式会社なのに (取締役・平社員)

〒226-0016 神奈川県横浜市緑区霧が丘 3-15-1

<http://nanoni.co.jp/>

職場 : 一般社団法人日本土地資源協会 (代表理事)

<http://land-resource.org/>

〒157-0073 東京都世田谷区砧 6-27-19 笑恵館

<http://shokeikan.com/>

主な所属団体 :

特手非営利活動法人 HOME-FOR-ALL (事務局長)

<http://www.home-for-all.org/>

一般社団法人地域社会圏研究所 (事務局長)

<https://localrepublic.jp/>

.....

## 6. このメルマガについて

松村拓也とご縁のあった方に、日々の活動やブログ記事の抜粋などの情報をほぼ毎週お届けします。  
参加希望、ご意見、ご質問など、何でもこのメールに返信してください。

バックナンバーはこちら

<http://nanoni.co.jp/magazine/>

メール配信をご希望の方はこちら

<http://eepurl.com/dHjgFX>

まぐまぐ版はこちら

<https://www.mag2.com/m/0001693746>